

## 仙台防災未来フォーラムの関連イベント『第4回宝探しゲーム 政宗公からの密命』を開催しました(2019/11/10)

テーマ：コミュニティ防災、片平地区、防災教育、仙台市地域防災リーダーSBL  
場所：仙台市青葉区片平地区

2019年11月10日、片平地区まちづくり会の主催、東北大学災害科学国際研究所、仙台観光国際協会、仙台市片平市民センターの協力のもと、「第4回宝探しゲーム 政宗公からの密命」を仙台防災未来フォーラムの関連イベントの一つとして開催しました。参加者は40名、スタッフは片平地区在住の仙台市地域防災リーダーSBLを主力に約20名で運営しました。参加者は片平地区在住の小中学生15名のほか、片平地区在住の外国人13名、世界防災フォーラムのために来日中のワシントン大学の研究者2名、仙台市以外からの一般参加者などで構成されました。当研究所の佐藤健 教授（情報管理・社会連携部門）が企画運営に協力しました。

主催した片平地区まちづくり会は、小学校区単位でのまちづくり活動に取り組んでおり、その取り組みの一つの柱として災害に強いまちづくりや、人材育成の活動を行っています。楽しみながら地域内の防災や歴史を学ぶことができる「防災×宝さがしゲーム」を2017年よりスタートさせ、地域住民や外国人を対象にこれまで3回実施してきました。災害科学国際研究所は第1回から企画運営に関わり、今回はその4回目の開催となりました。

第1回目では宝探しゲームの参加者として大人にガイドされる立場であった中学校1年生だった子どもたちが、今回は高校1年生に成長し、後輩となる片平地区の小中学生に対して防災や歴史をガイドする立場となって活躍していました。活動しながら次世代を育む片平流の人材育成の取り組みは、コミュニティ防災を持続可能とするためのロールモデルであると考えます。



宝探しゲーム開始の様子



外国人参加者の様子



防災資源の確認と学習の様子

文責：佐藤 健（情報管理・社会連携部門）